

事業の実施の目標と成果指標について（「森林整備保全事業計画」より）

成果指標

<持続的な森林経営の推進>

- ▶ 人工林について主伐後の再造林や間伐を適切に実施することにより、国土の保全や水源の涵養等の多面的機能を発揮する健全な森林への誘導を進める。

目標値 35% (R10)

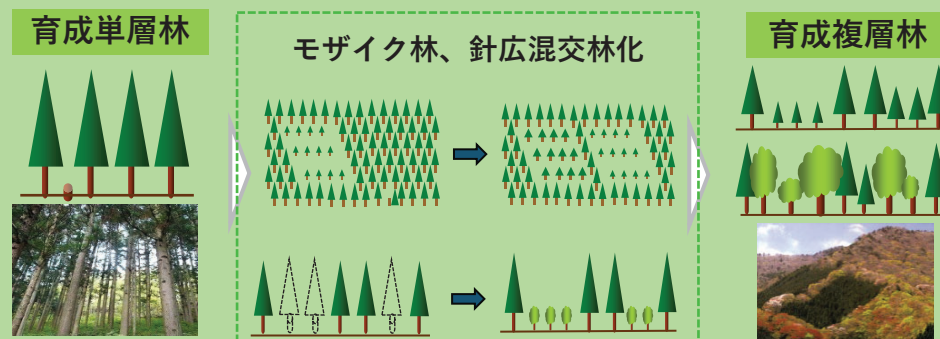


成果指標

<複層林化の推進>

- ▶ 森林・林業基本計画において育成複層林に誘導することとされている340万haの育成単層林のうち、育成複層林へ誘導した森林の割合を増加させる。

現状値 1.5% (R5) → 目標値 4.3% (R10)



成果指標

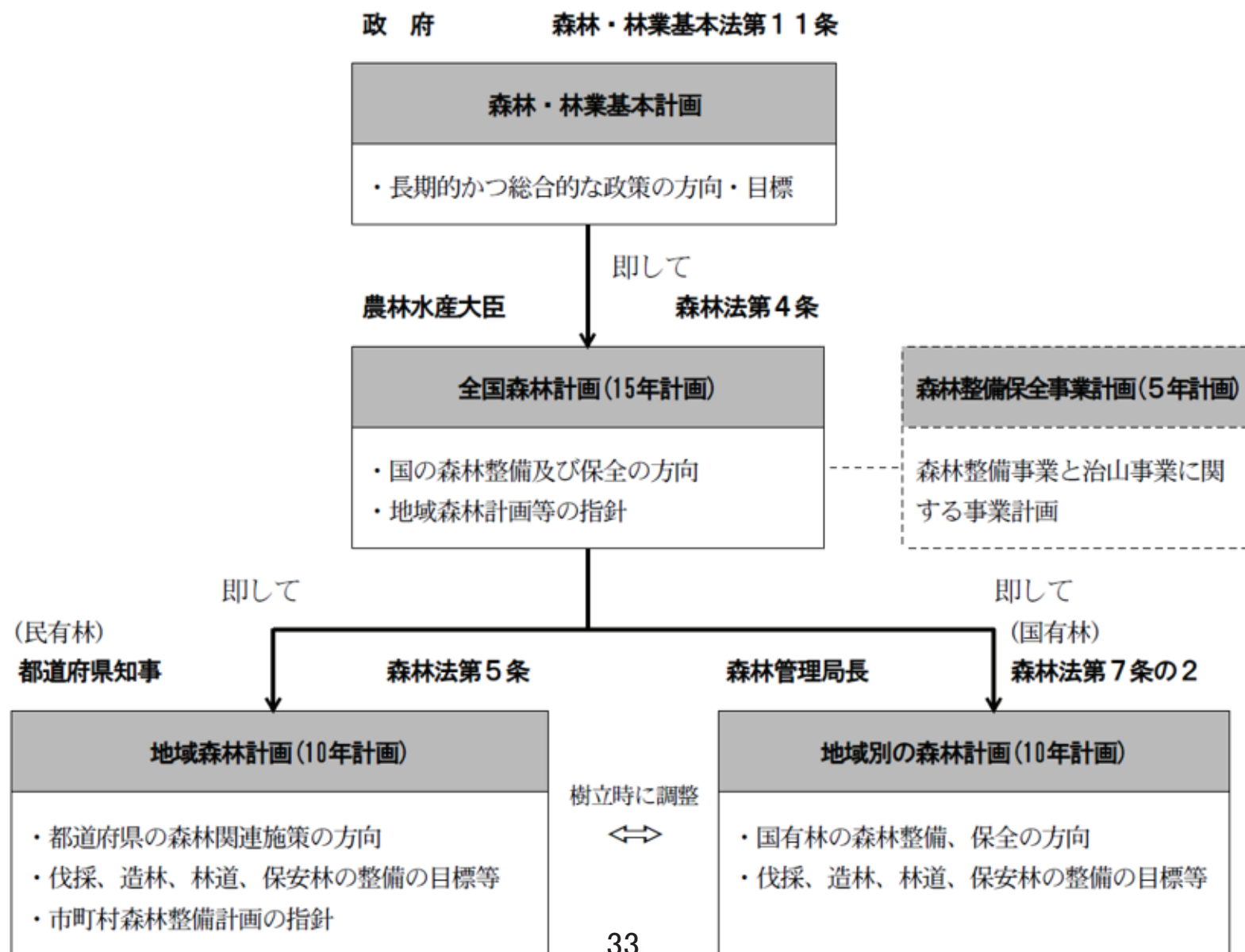
<省力・低コスト造林の推進>

- ▶ 人工造林面積のうち省力化やコスト低減を図る取組を実施した面積の割合を増加させる。

現状値 44% (R3) → 目標値 85% (R10)



森林計画の体系



論点

森林整備事業（直轄）

1. 森林整備を取り巻く問題について、新技術の導入による省力化や民有林への波及が重要な課題であり、改善に向けた取組や工夫に係る指標を示すことができないか。
2. 短期あるいは中期アウトカムで省力化等事業実施による効果を盛り込むことができないか